

令和2年度シラバス（国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	現代文B	単位数	2単位	学年（コース）	2学年（国際教養科）
使用教科書	精選 現代文B（三省堂）				
副教材等	現代文読解WORKS2（尚文出版） 新成現代文2（尚文出版）	表現読解国語辞典（ベネッセ） 頻出漢字マスター3000（尚文出版）			

1 学習目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 指導の重点

- ①文章を的確に理解し、適切に表現するための言語事項を身につける。
- ②文章の種類に応じて論理の構成や表現の工夫に注意して読むことで、内容を的確に理解し自分の考えを深める。
- ③言語を用いて自分の考えを他者に伝えるための効果的な方法を学び、適切に表現する力を身につける。

3 学習計画

期	単元・教材	学習内容	時間
1 学 期	中間 随想「最初のペンギン」 小説「山月記」	<ul style="list-style-type: none"> ・「最初のペンギン」が持つ意義を通じて、不確かさに立ち向かい、乗り越えるための方法について考える。 ・「李徴」及び「袁慆」の視点に沿いつつ、語り手が構成する場面の意味を考え、特徴的な文体が作品世界にもたらす影響を考えながら文章を読み味わう。 	15
	期末 評論「未来世代への責任」 評論「恐怖とは何か」 批評のまなざし①	<ul style="list-style-type: none"> ・逆接を用いた論理の展開に着目して、筆者の主張を読み取る。 ・「恐怖」の原因と関わる論理を読み取り、キーワードである「自我」についての理解も深める。 ・筆者の主張に対する自分自身の意見を、論点を整理しながら表現する。 	22
	・問題集『新成現代文』1～10 ・問題集『現代文読解WORKS2』評論1～3小説1～2	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の間や週末課題などで、問題演習に取り組み、解答および自己採点のポイントをつかむ。 	
2 学 期	中間 詩歌「永訣の朝」 評論「メディアと歴史」 小説「蠅」	<ul style="list-style-type: none"> ・詩にこめられた心情を読み取ると共に宮沢賢治についての知識も深める。 ・人間が生み出した道具や技術によって、私たちが拡張された身体と社会を生きているということの意味を読み取る。 ・文章に描かれる情景を表現に即して読み、人物の行動や状況を捉え、題名とも関わらせながら主題を読み取る。 	20
	期末 評論「コンクリートの時代」 評論「戦争の〈不可能性〉」	<ul style="list-style-type: none"> ・「建築」「戦争」について述べられた二つの評論を読み、そこに著された二十世紀の特徴を読み取る。 	30
	・問題集『現代文』11～20 ・問題集『現代文読解WORKS2』評論4～6 小説3～4	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の間や週末課題などで、問題演習に取り組み、解答および自己採点のポイントをつかむ。 	

3 学 期	小説「こころ」 批評のまなざし②③	・叙述に即して登場人物の心情を読み取り、近代の小説世界を読み味わう。 ・近代の思想を理解するとともに、人間の生き方についての思索を深める。	25
	・問題集『現代文』21～30 ・問題集『現代文読解WORKS 2』評論7～8 小説5～6	・単元の間や週末課題などで、問題演習に取り組み、解答および自己採点のポイントをつかむ。	

計75時間(47分授業)

4 課題・提出物等

副教材は、授業担当者の指示をよく聞いて学習に役立て、提出を要する場合は滞りなく提出すること。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の5つの観点から行う。

関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とする。

- ・年5回の定期考査
- ・授業で活用する副教材、プリントへの取組状況および提出状況
- ・月末課題、長期休業に課される課題への取組状況および提出状況
- ・学習への参加状況

1年間の評定は、年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定する。

6 担当者からの一言

「現代文B」では、様々な文章を読み解くことを通していろいろな角度から現実を見つめ、自分の意見を持つことを大きなねらいとしています。受け身ではなく、自ら学ぶ姿勢を持って授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することを心掛けてください。また、授業を通して身につけた姿勢を日常生活にも生かし、積極的に言葉に関わり、幅広い視野を持つ努力をしましょう。

さらに、大学入試共通テスト対策として、問題演習ならびに適切な自己採点ができるように、学習していきます。希望する進路先が求める力に込えられるように、意欲的に取り組んでください。

令和2年度シラバス（国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	古典B	単位数	3単位	学年(コース)	2学年(国際教養科)
使用教科書	高等学校 古典B 古文編・漢文編 (第一学習社)				
副教材等	読み解く古典(浜島書店) みるみる覚える古文単語300+30(いいずな書店)・漢文必携(桐原書店) 完全マスター古典文法(第一学習社)・全訳コンパクト古語辞典(ベネッセ)				

1 学習目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

2 指導の重点

- ①古典を読むために必要な語句の意味や用法、文法事項を身につける。
- ②古典を読んで、構成や展開に即して内容を的確に捉える。
- ③古典に描かれた思想や感情を読み取り、人間や社会について考察し、自分の考えを深めたり、視野を広げたりする。

3 学習計画

期	単元・教材	学習内容	時間
1 学期	中間 古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」 宇治拾遺物語「袴垂、保昌に合ふ事」 故事・寓話「嬰逆鱗」「知音」「推敲」	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的短い説話や随筆を読んで、古文に親しみをもち、話のおもしろさや表現上の特色を理解する。 ・登場人物の行動や心情を、表現に即して読み取る。 ・用言の活用、和歌の修辞について理解する。 	15
	期末 徒然草「ある者、子を法師になして」 方丈記「ゆく川の流れ」 古代の史話「鼓腹撃壤」「戦勝於朝廷」	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで、人間や社会に対する筆者の思想を読み取る。 ・無常観について理解し、日本文化の特質について考える。 ・助動詞、係り結びの法則について理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・描かれた人物像を読み比べ、歴史の中の人間について考える。 ・反語や使役などの句形を理解し、解釈に生かす。 	20
2 学期	中間 伊勢物語「初冠」「小野の雪」 大和物語「姨捨」 項羽と劉邦「鴻門之会」	<ul style="list-style-type: none"> ・文章や和歌を通して登場人物の行動と心情を読み取る。 ・和歌の読解と鑑賞を通して歌物語の特徴を理解する。 ・助動詞、和歌の修辞、音便について理解する。 ・登場人物の心情を読み取り、その人物像の魅力を読み味わい、歴史の中の人間について考える。 ・使役や反語などの句形を理解し、解釈に生かす。 	22
	期末 大鏡「雲林院の菩提講」「弓争ひ」 名家の文章「黔之驢」 中国の詩「独坐敬亭山」「江村」	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・歴史物語の特徴と文学的意義を理解する。 ・助動詞、敬語表現について理解する。 ・唐宋八大家の文章を読み味わい、論の展開・主張を読み取る。 ・漢詩の詩形・韻律を理解し、解釈に生かす。 	30

3 学 期	枕草子「すさまじきもの」	<ul style="list-style-type: none"> ・類集的章段を読み、作者の感性を味わい、『枕草子』の文学的位置づけも理解する。 ・著名な物語を読んで、話のおもしろさを味わい、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・助動詞、敬語表現について理解する。 ・日記を読んで、筆者の思想や感情を読み取り、当時の生活について理解する。 ・平安女流日記文学の特徴を理解するとともに、源氏物語との関連を理解する。 ・儒家の思想の根幹をなす考え方について、その特徴と概要を理解する。 	25
	源氏物語「光る君誕生」		
	更級日記「門出」		
	儒家の思想「論語」「孟子」		

計112時間(47分授業)

4 課題・提出物等

副教材は、授業担当者の指示をよく聞いて学習に役立て、提出を要する場合は滞りなく提出すること。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の3つの観点から行う。

関心・意欲・態度	古典を読む能力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとしている。
読む能力	古典を読んで、内容及び思想や感情を構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとしている。
知識・理解	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とする。

- ・年5回の定期考査
- ・授業で活用するプリント等への取組状況および提出状況
- ・長期休業期間に課される課題への取組状況および提出状況
- ・学習への参加状況

1年間の評定は、年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定する。

6 担当者からの一言

「古典B」は、「国語総合」で学んだ古典の基礎（語句の意味や用法、文法事項）の定着などを図り、自分で解釈ができるように学習を進めていきます。代表的な古典作品を数多く読んで、古典の文体に慣れ、解釈の力をレベルアップさせていきましょう。また、さまざまな文章を読み解くことを通して、人間や社会について考察し、自分の考えや視野を広げる契機としましょう。

令和2年度シラバス (公民)

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	現代社会	単位数	2単位	学年(コース)	2学年 (国際教養科)
使用教科書	第一学習社 高等学校 改訂版 現代社会				
副教材等	政治・経済資料(東京法令出版)	4ステージ演習ノート政治・経済(数研出版)	用語集 現代社会+政治・経済(清水書院)		

1 学習目標

現代社会の諸課題について、政治・経済、社会・文化・倫理などさまざまな観点から探求し、時事的な問題を切り口に、現代社会に対する興味・関心を高める。現代社会について多角的な視点から考察させるとともに、現代社会と自己との関わりに注目させ、いかに生きるかを主体的に考えさせる。

2 指導の重点

現代社会の基本的な問題にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考え、よりよい社会の実現に向けて参加・協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。現代社会の基本的な問題と人間としての在り方生き方にかかわる事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けさせる。

3 学習計画

学期	単元	学習内容	時間
1 学 期 中 間	第1編 わたしたちの生きる社会 ①地球環境問題 ②資源・エネルギー問題 ③科学技術の発達と生命倫理 ④高度情報社会と私たちの生活 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 現代に生きる青年 ①青年期の意義と自己形成の課題 ②現代社会における青年の生き方 ③伝統や文化と私たちの生活	・幸福、正義、公正などの倫理的な視点を多面的に、環境や生命や情報などをよりどころに考えていく。 ・現代社会の特質や青年期の意義について理解させ、自己形成の課題として問題をとらえ、主体的にいかに生きるかを考えていく。	12
1 学 期 末	第2章 個人の尊重と法の支配 ①民主政治における個人と国家 ②基本的人権と法の支配 ③世界のおもな政治体制 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義 ①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と安全保障 ③基本的人権の保障と新しい人権 ④国民主権と議会制民主主義 ⑤内閣と行政の民主化 ⑥裁判所と人権保障 ⑦地方自治と住民の福祉 ⑧世論形成と政治参加	・経済の単元と同様に、現代政治の焦点を中心に学習する。 ・切り口を現代政治とすることによって、科目「現代社会」の特色を生かしながら学習する。	14
2 学 期 中 間	第4章 国際政治の動向と日本の役割 ①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③今日の国際社会 ④核兵器の廃絶と国際平和 ⑤地域紛争と人種・民族問題 ⑥国境と領土問題 ⑦外交政策と日本の役割	・世界で起きている様々な問題について知り、平和な世界をつくるための日本の役割について考える。	15
2 学 期 末	第5章 現代の経済社会と私たちの生活 ①経済社会と経済体制 ②経済主体と企業の活動 ③市場経済のしくみ ④経済成長と景気変動 ⑤政府の経済的役割と租税の意義 ⑥金融機関のはたらき ⑦戦後の日本経済の動き ⑧産業構造の変化 ⑨雇用と労働問題 ⑩公害の防止と環境保全 ⑪消費者保護と契約 ⑫社会保障と国民福祉	・経済の問題を、現代経済の問題を中心に考える。	15
3 学 期 末	第6章 国際経済の動向と日本の役割 ①日本経済のしくみと貿易の拡大 ②進む経済統合 ③国際経済の動向 ④発展途上国の経済と南北問題 ⑤国際協調と日本の役割	・世界で起きている様々な問題について、日本とのかかわりを視点としながら考える。	19

<p>第3編 とともに生きる社会をめざして ケーススタディ① 税と社会 ケーススタディ② 東日本大震災後のエネルギー問題をめぐって ケーススタディ③ 人口問題と私たちの未来</p>	<p>・教科書に掲載されている図版、写真、資料などを適切に使用し、税・エネルギー・神子問題について考察する。</p>	
---	--	--

計 75 時間 (47 分授業)

4 課題・提出物等

- ・特になし。
- ・長期休業中の課題については別途指示する。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

<p>関心・意欲・態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の出来事や問題に関心を持っている。 ・自分から積極的に学ぼうとし、課題を探求しようとしている。 ・自分たちの生活をしっかりととらえ、より良いものへ改善しようとする態度や意見が見られる。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会での出来事を広い視野に立って考え、いろいろな立場や考え方があり、それぞれ公正に判断しようとしている。 ・自分がどのような筋道で、考えたのかを理解し、反省や思考を繰り返し判断している。 ・自分の考えや意見を正確に伝え表現することができる。
<p>資料活用の技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・統計や資料を正確に読みとることができる。
<p>知識・理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の出来事についての基本的な問題、社会のしくみなどをよく理解し記憶している。 ・現代社会の問題はいろいろなことが混じり合っていてできていることを理解している。

このため、評価は具体的には次のものを対象とする。

- ・年5回の定期考査(予定)
- ・授業で活用するプリント
- ・長期休暇に出題される課題
- ・学習への参加状況

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定する。

6 担当者からの一言

現代社会は今の時代に起こっている出来事、社会のしくみなどを学習し、皆さんの生活に直接関わるが多くあります。高校を卒業して困らないように、一般常識としてしっかりと学習し、自分の知識として利用できるようにしていこう。疑問などは、積極的に質問し、理解を深めていって欲しいと思います。(なお、この計画は、生徒の理解度・状況によって変更する場合があります。)

令和2年度シラバス (数学)

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科 (科目)	数学 (数学Ⅱ)	単位数	4単位	学年 (コース)	2学年 (国際教養科)
使用教科書	東京書籍「数学Ⅱ Standard」(東書 数Ⅱ 318)				
副教材等	東京書籍「WRITE 数学Ⅱ」				

1 学習目標

方程式・式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数及び微分と積分の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度が育つことを目標とする。

2 指導の重点

- ① 整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。また、方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して二次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。
- ② 座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。
- ③ 指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
- ④ 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
- ⑤ 微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。

3 学習計画

学期	単 元 名	学 習 活 動 (指導内容)
1	1章 方程式・式と証明 (33時間) 1節 整式・分数式の計算 1 整式の乗法と因数分解 2 二項定理 3 整式の除法 4 分数式とその計算 2節 2次方程式 1 複素数とその演算 2 解の公式 3 解と係数の関係 3節 高次方程式 1 因数定理 2 簡単な高次方程式 4節 式と証明 1 恒等式 2 不等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> ・3次の乗法公式と因数分解の公式について理解する。 ・二項定理をパスカルの三角形と関連づけて学習する。 ・整式の割り算をすることができる。また、整式Aを整式Bで割った商Qと余りRの関係式$A=BQ+R$を見だし、この関係式から余りを求めることができる。 ・分数式の約分や通分、分数式の四則計算ができる。 ・数の範囲を複素数まで拡張すると、どのような2次方程式でも解の公式によって解けることや、2つの解をもつことを理解し、判別式$D=b^2-4ac$によって解の種類を分類できる。 ・2次方程式の2つの解の和と積が、方程式を解かなくても解と係数の関係によって求めることができることに興味をもつ。 ・因数分解や因数定理を利用したり、式の特徴を利用したりして、高次方程式を解くことができる。 ・恒等式の考え、および等式の証明方法を理解する。 ・不等式の性質を理解し、不等式の証明をすることができる。相加平均と相乗平均の関係を理解し、利用することができる。
	2章 図形と方程式 (32時間) 1節 点と直線 1 直線上の点の座標 2 平面上の点の座標 3 直線の方程式 4 2直線の関係 2節 円 1 円の方程式 2 円と直線 3 2つの円の位置関係	<ul style="list-style-type: none"> ・直線上と平面上の2点間の距離を求めることができる。また、内分点・外分点の座標を計算によって求めることができる。 ・さまざまな直線の方程式や2直線の交点を求めることができる。また、2直線が平行になる場合と垂直になる場合について理解し、それぞれの条件を求めることができる。 ・図形の性質から、円の方程式を求めることができる。 ・直線の方程式と円の方程式を連立させて2次方程式を解くことにより、共有点の座標を求めることができる。また、円と直線の位置関係と判別式との関連について理解する。
2	3節 軌跡と領域 1 軌跡とその方程式 2 不等式の表す領域 3 連立不等式の表す領域 3章 三角関数 (27時間) 1節 三角関数 1 一般角	<ul style="list-style-type: none"> ・直線や円が、条件を満たす点の集合として表せることを理解し、軌跡の方程式を求めることができる。 ・不等式で表される領域が平面の一部であることや、領域が不等式で表されることを理解する。 ・弧度法により扇形の面積や弧の長さを求めることができる。 ・三角関数を一般角、弧度法により定義し、三角関数と単位円との関係、三角関数の値域、三角関数の相互関係などを理解する。

学期	単元名	学習活動 (指導内容)
2	2 弧度法 3 三角関数 4 三角関数の性質 5 三角関数のグラフ 6 三角関数を含む方程式・不等式 2節 加法定理 1 加法定理 2 加法定理の応用 3 三角関数の合成 4章 指数関数・対数関数 (2 2時間) 1節 指数関数 1 整数の指数 2 累乗根 3 有理数の指数 4 指数関数とそのグラフ 5 指数関数の応用 2節 対数関数 1 対数とその性質 2 対数関数とそのグラフ 3 常用対数	<ul style="list-style-type: none"> 三角関数のグラフの特徴に興味をもち、その特徴を理解してグラフをかきことができる。 三角関数を含む方程式や不等式の解法を理解する。 三角関数の加法定理を認識し、15°、75°、105°などの三角関数の値を求めることができる。 加法定理から2倍角の公式を導き、利用できる。 三角関数の合成について理解し、関数の最大値・最小値に応用することができる。 指数の拡張に興味をもち、指数を正の整数から整数に拡張したときにも指数法則が成り立つことを理解する。 累乗根の意味を理解し、簡単な計算をすることができる。 指数を整数から有理数に拡張しても累乗が定義でき、指数法則が成り立つことを理解する。 指数関数のグラフを利用して、実数の大小比較や方程式、不等式を解くことができる。 対数の定義や性質を理解し、簡単な式の値を求めることができる。 指数関数の性質と関連づけながら、対数関数の性質について理解を深め、そのグラフの特徴と性質を理解する。 常用対数について理解を深める。
3	5章 微分と積分 (3 5時間) 1節 微分係数と導関数 1 平均変化率 2 微分係数 3 導関数 4 導関数の計算 2節 導関数の応用 1 接線の方程式 2 関数の増減 3 関数の極大・極小 4 関数の最大・最小 5 方程式・不等式への応用 3節 積分 1 不定積分 2 定積分 3 定積分と面積	<ul style="list-style-type: none"> 平均変化率が、2点を通る直線の傾きに等しいことを理解する。 関数の平均変化率の極限值として、微分係数を求めることができる。また、微分係数を関数的にとらえ、導関数の定義を認識する。更に、簡単な整関数の導関数を計算することができる。 微分法を用いて、接線の方程式を求めることができる。また、関数の増加・減少と導関数の正負との関係を考え、関数の増加・減少を調べることができる。 導関数を用いて、関数の極大・極小を調べることができる。また、その結果を利用して、関数のグラフをかき、関数の最大値・最小値を求めることや、不等式を証明することに応用できる。 微分法の逆演算として不定積分を理解し、整関数の不定積分や定積分の計算ができる。 放物線と直線などが囲む部分の面積を定積分で表せることを理解し、その定積分を計算して、面積を求めることができる。

計149時間 (47分授業)

4 課題・提出物等

- ①副教材の問題集
- ②授業中に配付するプリントなど
- ③長期休暇中の課題ノート

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

①関心・意欲・態度	②数学的な見方や考え方	③数学的な技能	④知識・理解
数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断している。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
以上の点をふまえ、定期考査・長期休業後の課題考査・提出物・授業への取組みなどから、総合的に判断します。			

6 担当者からの一言

数学の学習は毎日の家庭学習がとても大切です。たくさん問題を解いて経験値を上げよう。忘れる暇もなく何度も練習するほど学習内容は定着します。脳の神経は使うほどに太くなるのです。過去に習ったことを忘れていたら、面倒がらずに調べよう。1年生の教科書や、中学の教科書、昔のノートも確認してください。きちんと勉強していた人は、過去の自分の真面目さに、きっと感謝するはずですよ。

令和2年度シラバス (理科)

学番 9 新潟県立新潟商業高等学校

教科 (科目)	理科 (生物基礎)	単位数	2単位	学年 (コース)	2学年 (国際教養科)
使用教科書	数研出版 改訂版 生物基礎				
副教材等	第一学習社 セミナー生物基礎 実教出版 四訂版サイエンスビュー生物総合資料				

1 学習目標

1. 日常生活や社会との関連を意識しながら生物や生物現象への関心を高め、生物学的に探求する能力と態度を身につける。
2. 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身につける。

2 指導の重点

1. 現代生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった内容を、最先端の生物学を織り交ぜながら学習する。
2. 生物の多様性の中から法則を導き、その中の法則に基づきながら共通性を見いだしていく。
3. 観察・実験を通して自然を科学的に探求する能力を育てる。さらに、実験に対する目的、仮説、準備、方法、結果、考察、発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。
4. 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。

3 学習計画

学期	月	学 習 内 容	時間
1学期	4	第1編 生物の特徴	3
		1章 生物の多様性と共通性 多様な生物にみられる共通性、生物の共通性としての細胞について	
	5	2章 生命活動とエネルギー エネルギーと代謝、代謝を進める酵素、生体内におけるエネルギー変換、ミトコンドリアと葉緑体の起源について	6
		第2編 遺伝子とそのはたらき	
	6	1章 生物と遺伝子 遺伝情報とDNA、DNAの構造、ゲノムと遺伝情報について	5
		2章 遺伝情報の分配 細胞分裂とDNA、細胞周期とDNAの複製について	
	7	3章 遺伝情報とタンパク質の合成 遺伝情報の流れ、転写、翻訳、遺伝子の発現と生命現象について	7
2学期	9	第3編 生物の体内環境の維持	8
		1章 体内環境 (8時間) 体内環境の特徴、心臓と血液の循環、体内環境を調節する器官について	
	10	2章 体内環境を維持するしくみ (8時間) 自律神経系による調節、内分泌系による調節、自律神経系と内分泌系による共同調節について	8
	11	3章 免疫	14
	12	生体防御と免疫、自然免疫、適応免疫、免疫とヒトについて	

3学期	1	第4編 生物の多様性と生態系 1章 植生の多様性と遷移 植生とその環境, 植生の遷移について	7
	2	2章 バイオームとその分布 気候とバイオーム, 陸上のバイオームについて	7
	3	3章 生態系とその保全 生態系とエネルギーの流れ, 生態系での物質の循環, 生態系のバランスと保全, 生物多様性の保全について	5

計75時間(47分授業)

4 課題・提出物等

実験・観察のレポートは実施時間内に作成し、提出することを原則とする。
各単元内の内容によっては、授業内小テストも実施することがある。
副教材に含まれる練習問題は、授業の進度に合わせて各自が家庭学習として行うことを原則とする。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方ができる。
思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。
観察・実験の技能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・年4回の定期考査および課題考査
- ・授業で活用するプリント
- ・実験・観察のレポート
- ・授業中の学習意欲、提出物への取り組み

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

生物基礎では、生物や生命現象を通して、身の回りの動植物、自然、または自分自身のからだのしくみや現象について学習します。身近な生命現象などを例に、生物の不思議さやおもしろさに迫っていきます。

令和2年度シラバス（保健体育）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	保健体育（体育）	単位数	2単位	学年（コース）	2学年（国際教養科）
使用教科書	最新高等保健体育 改訂版				
副教材等	最新高等保健体育ノート				

1 学習目標

- ・ 運動の実践を通して、運動技能を高め、仲間とともに楽しさ・喜びを深く感じることができる。
- ・ 日頃の体調を整えるとともに、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育む。
- ・ 生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

2 指導の重点

- ・ 何事にもあきらめずに取り組む姿勢を身につける。（精神面、体力面）
- ・ 仲間とともに楽しさ・喜び・感動を分かち合いながら実践していく能力を身につける。
- ・ 様々な運動の特性を理解して、仲間とともに協力しながら実践し、互いに技能を高める。
- ・ 球技等のチームゲームにおいては、自己の役割を理解してチームに貢献する。
- ・ 安全に留意しながら、互いに相手を尊重して、公正な態度で試合ができるようにする。

3 学習計画

学期	月	学習内容	時間
1学期	4	体づくり運動（集団行動・スポーツテスト含む） 陸上競技（短距離・ハードル走・円盤投げ）	26
	5	↓	
	6	↓	
	7	↓	
		選択（外Ⅰ） ゴール型・ネット型・ベースボール型 〔サッカー・ソフトボール・バドミントン〕	
2学期	9	↓	30
	10	↓	
	11	↓	
	12	↓	
		選択（B授業） 武道・ダンス 〔柔道・剣道・ダンス〕	
3学期	1	選択（中Ⅱ） ゴール型・ネット型 〔バスケットボール（男子）・バレーボール（女子）・卓球・バドミントン〕	19
	2	↓	
	3	↓	

計75時間（47分授業）

4 課題・提出物等

特になし（但し、長期欠席や見学等の場合は課題の提出が必要な場合もある。）

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">・ 運動の楽しさや喜びを学び、自ら積極的に参加している。・ 公正、協力、責任などの社会的態度が身についている。・ 健康、安全に留意しながら運動を実践している。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none">・ 運動の特性に応じた課題を自己やグループにおいて課題解決を目指し、工夫し活動している。
運動の技能	<ul style="list-style-type: none">・ 自己・グループの能力と運動の特性に応じた課題を考慮しながら、自己・グループの技能向上を行っている。・ 与えられた課題を克服している。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none">・ 運動の大切さを理解して、体力の向上に努めている。・ 運動の特性、自己の体力・能力に応じた高度の技術を理解している。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

出欠席の状況
授業中の態度（意欲）
実技のテスト等

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容により総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

- 1、体調管理をしっかり行い授業に臨むこと。
- 2、本校指定の体操着、内履き、外履きを着用すること。
- 3、授業開始に遅れないよう活動場所に集合、整列しておくこと。
- 4、見学をする場合は授業の1時間前に担当者に申し出指示を受けること。
- 5、貴重品は各自でしっかりと管理すること。

令和2年度シラバス（保健体育）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	保健体育（保健）	単位数	1単位	学年（コース）	2学年（国際教養学科）
使用教科書	大修館 最新保健体育 改訂版				
副教材等	大修館 最新保健ノート				

1 学習目標

- 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めること。
- 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養うこと。
- 二学年次においては、生涯を通じる健康へとつなげるため、思春期である高校生期の心や体について理解するとともに、適切に行動選択する能力を養い、保健・医療機関の活用について学び、中高年期の健康課題を解決していけるようにする。また、取り巻く自然環境や社会環境を深く知りながら、働く人の健康・安全の実現を可能にするような知識を習得する。

2 指導の重点

- 高校生の思春期は、体の変化や心に大きな動きが生じる生涯の中でもきわめて重要な時期である。そのような時期であることを理解するとともに正しい行動選択を行うようにする。
- 生命の尊さを理解するうえで、一連の妊娠から出産の流れや望まれない生命がないように計画的に出産することも知識として習得する。
- 思春期を過ぎての結婚・加齢していく中で有意義な人生を過ごすためにも、保健・医療のサービスを上手に活用することが不可欠である。それらを理解するとともに安全な社会づくりに大いに貢献できるようにする。
- 環境汚染の現状を理解することとその予防について考察していくことの大切さを自己の健康を併せて考えていく。
- 食の安全が、多く取り上げられている。自らのためにも十分な理解が必要である。
- 働くなかに、やりがいや生きがいを持つことと健康を関連させながら、よりよい社会や健康づくりをすることを考えていく。

3 学習計画

学期	月	単元名	学習活動（指導内容）	時間
1学期	4	2単元 生涯を通じる健康 1 思春期と健康	<ul style="list-style-type: none"> 思春期の体の変化と心のうごきについて理解を深める。 	13
	5	2 性への関心・欲求と性行動	<ul style="list-style-type: none"> 思春期の欲求や性行動の選択について深く考える。 	
	6	3 妊娠・出産と健康	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生命誕生の一連の過程を理解して、生命の尊さを深く知る。 	
		4 避妊法と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> 家族計画を含めた安全・確実な避妊法の選択や人工妊娠中絶の負担などを理解する。 	
	5 結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> 最良のパートナーとの生活となる結婚について理解する。 		
	7	6 中高年期と健康	<ul style="list-style-type: none"> 中高年期における健康課題を理解するとともに、健やかに生きていくための工夫について考える。 	
2学期	9	7 医薬品とその活用	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品の正しい使用法とその安全性を守る取り組みについて理解を深める。 	
		8 医療サービスとその活用	<ul style="list-style-type: none"> 国民皆保険体制の充実における医療サービスのしくみについて理解する。 	
		9 保健サービスとその活用	<ul style="list-style-type: none"> 保健行政とそこで展開されているさまざまな保健サービスを理解する。 	

	11	10 さまざまな保健活動や対策 3単元 社会生活と健康 1 大気汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスプロモーションに基づく活動を理解する。 地球全体での大気汚染を考えていくことと自らの健康について深く考える。 次代に受け継ぐための水・土について、健康と関連しながら理解していく。 環境汚染を防ぐさまざまな取り組みについて理解する。 	15
	12	2 水質汚染・土壌汚染と健康 3 環境汚染を防ぐ取り組み		
3学期	1	4 ごみの処理と上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備のごみ処理、上下水道の整備について自らがすべきことを深く考える。 食品の安全を守るために消費者としてできることを深く考える。 やりがい、生きがいをもって働くことの大切さと安全に配慮しながら働く重要さを認識する。 職場や余暇の過ごし方による健康づくりを目指していくための知識を習得する。 	10
	2	5 食品の安全を守る活動 6 働くことと健康		
	3	7 働く人の健康づくり		

計38時間(47分授業)

4 課題・提出物等

・各学期の保健ノート提出等

5 評価規準と評価方法

評価は、次の3つの観点から行います。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 健康について興味・関心をもっている。 資料等を見ながら、意見等の交換ができる。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 経験や資料等をもとに、課題の解決の方法を模索する。 日常において健康・安全の実現という健康課題を解決する。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全について、課題解決に役立つ知識を身につけている。 適切な行動選択や環境改善について理解している。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・年3回の定期考査
- ・保健ノート等の提出
- ・授業中の態度、質問への応答

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

- ・一年次の保健授業からの健康課題を理解して、よりよく充実した人生を過ごすために欠かせない健康について、さらに深く理解してもらいたい。
- ・高校生期の思春期の過ごし方や考え方で、その後の人生に大きな影響があり、健康保持増進のために体を大切にすると同時に心を育みましょう。

令和2年度シラバス（情報）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	情報（社会と情報）	単位数	2単位	学年（コース）	2学年（国際教養学科）
使用教科書	高校社会と情報新訂版（実教出版）				
副教材等					

1 学習目標

1. 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。
2. 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現させる。
3. 効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

2 指導の重点

- ・情報に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける
- ・情報の意義や役割を理解
- ・情報モラルを踏まえた適切な判断
- ・情報の収集・処理・発信などの情報活用能力
- ・コンピュータの特性や情報通信ネットワークの仕組みなどの基礎知識の習得

3 学習計画

学 期	月	学習内容	時間
1学期	4	オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・中学校までの生徒の知識・技能・経験などの調査を行う。 ・コンピュータの起動や終了方法を習得する。 ・自己紹介などの文章を作成し、共有フォルダに保存する実習を行うことで、必要な操作を習得する。 ・コンピュータ教室でのマナーを理解する。 1章 情報社会 <ul style="list-style-type: none"> ・情報や情報社会についての意味を理解する。 ・情報の特徴を理解する。 ・情報社会がもたらした生活やビジネスの変化について学ぶ。 ・インターネットの特質と個人の責任、心構えなどについて学ぶ。 ・コンピュータを利用した犯罪と、被害者にならないための心構えを学ぶ。 等 	26
	5	2章 コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの形態や、その変化について学ぶ。 ・電子メールにおける機種依存文字や添付ファイルについて理解する。 ・電子メールの同報機能や誤解を招かない表現などについて理解する。 ・ネットワークの構成について学ぶ。 ・様々な種類のネットワークの形態について学ぶ。 ・プロトコルやファイル形式について理解を深める。 ・IPアドレス、ドメイン名について学ぶ。 等 	
	6	3章 情報安全 <ul style="list-style-type: none"> ・パスワード、コンピュータウイルスとウイルス対策ソフトについて学ぶ。 ・不正アクセスとファイアウォールについて学ぶ。 ・セキュリティポリシーやアクセス制御、VLANについて学ぶ。 ・暗号化やフィルタリング、電子透かしなどの技術を学ぶ。 ・パリティチェックの仕組みについて学ぶ。 ・知的財産権の種類について学ぶ。 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・産業財産権について学ぶ。 ・著作者の権利と伝達者の権利について学ぶ。 ・著作権の例外規定や、著作権などの侵害例について学ぶ。 等 	

2学期	9	4章 デジタル化 ・アナログとデジタルの意味、情報量の単位を学ぶ。 ・AD, DAコンバータについて学ぶ。 ・ペイント系ソフト, ドロー系ソフトについて学ぶ。	30
	10	・画像処理ソフトを用いて、様々な画像処理を行う。 ・2進数, 10進数, 16進数について学ぶ。 ・文字コードについて学ぶ。 等	
	11	5章問題解決 ・問題解決の意味を理解する。 ・問題解決の方法と手順を理解する。 ・情報収集の方法や適切な検索のキーワードについて学ぶ。 ・AND検索, OR検索, NOT検索を検索エンジンで実習する。	
	12	・検索の組み合わせや使い分けの実習をする。 ・フォルダを用いて情報を階層化し整理する。 ・データベースや、情報の共有と整理について理解を深める。 等	
3学期	1	5章問題解決 ・表計算ソフトのデータ形式について学ぶ。 ・分析しやすいデータ形式について学ぶ。	19
2	・表計算ソフトの基本的な関数について理解する。 ・表計算ソフトの関数を利用した統計処理実習を行う。 ・表計算ソフトの表を使った情報の視覚化について学ぶ。		
3	・表計算ソフトを使ったグラフ化などの実習を行う。 ・プレゼンテーションを行い、相互に評価する。 ・Webページの目的や留意点について学ぶ。 ・基本的なHTMLの文法について学び、簡単なWebページを作成する。 等		

75時間 (47分授業)

4 課題・提出物等

<p>コンピュータ実習課題 コンピュータ制作作品 プリント課題 等</p>

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。	
関心・意欲・態度	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応している。
思考・判断・表現	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。
技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱うことができる。
知識・理解	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
<p>このため、評価は具体的には次のものを対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査や授業で活用するプリント ・学習への参加状況 ・作品制作 <p>1年間の評定は1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。</p>	

6 担当者からの一言

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や問題集、プリントを中心にPCを活用しながら学習します。教室は主に情報処理実習室です。 ・予習や復習、問題プリントの課題をしっかりとやり、情報活用能力を身につけましょう。
--

令和2年度シラバス（英語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	総合英語	単位数	3 単位	学年(コース)	2 学年 (国際教養科)
使用教科書	CROWN English Communication II NEW EDITION (三省堂)				
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・ CROWN English Communication II NEW EDITION WORKBOOK (桐原書店) ・ 総合英語 Evergreen (いいずな書店) ・ Bricks 2 (いいずな書店) ・ [推薦辞書] ジーニアス英和辞典 第5版 (大修館)・ジーニアス和英辞典 第3版 (大修館) 				

1 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解し自らの考えを深める能力を一層伸ばす。

2 指導の重点

- ・ 聞くこと、話すこと、書くことと関連づけた活動を行ないながら、主に読むことの指導に重点を置く。
- ・ 未知語の意味の推測、内容についての背景知識の活用、パラグラフ構造の理解、目的や状況に応じた適切な読み方などに配慮して、多読も取り入れながら、適切な読み方ができるよう指導する。
- ・ 語彙力や文法力を強化する。

3 学習計画

期	単元名	学習内容	時間
1 学期 中間 考查	Lesson 1 Around the World on a Bike	○劇作家平田オリザが、16歳のときに決意したアメリカ・ヨーロッパへの自転車一人旅を通して、その後の人生に与えた影響について考える。 ・ 関係代名詞の非制限用法/不定詞の意味上の主語/動名詞の意味上の主語	28
	Lesson 2 Into Unknown Territory	○史上最強の棋士と言われる羽生善治の勝負観から、さらには人生哲学に触れる。 ・ 関係副詞の非制限用法/受け身・否定の分詞構文/S + V + O(=whether 節)	
1 学期 期末 考查	Lesson 3 OOPARTS	○過去における当時の技術では考えられない「オーパーツ」の中から、自分の興味のあるものを選び、まとめて発表する。 ・ 前置詞+関係代名詞/助動詞+have+過去分詞/It is known that~	28
	Lesson 4 Crossing the Border	○国際協力をする上で重要なことに気づき、「貫戸医師のとった判断」について、自分の考えを発表する。 ・ 不定詞+前置詞/完了進行形/強調構文	
2 学期 中間 考查	Lesson 5 Saving Cherokee	○母語を守るために闘い続けたチェロキーの歴史を通して、民族にとって母語とは何かを考える。 ○「危機に瀕した言語」について自分の意見を発表する。 ・ 複合関係詞/不定詞の完了形/比較級+than + S + V	30
	Lesson 6 Ashura—A Statue with Three Faces—	○人々が阿修羅像に魅かれる理由を考える。 ・ 結果を表す不定詞/倒置/無生物主語の他動詞構文	

2 学 期 期 末 考 査	Lesson 7 Why Biomimicry? Lesson 8 Working against the Clock	○新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミクリー」を通して、自然との「共生」について考え、他の人と共有する。 ・仮定法現在/if節のない仮定法/未来に関する仮定法 ○本課で「地雷」について学んだことを、的確にまとめる。 ○ロボットによる地雷除去活動を通して、平和の大切さ、世界へ貢献することの重要性を学ぶ。 ・完了の分詞構文/受け身の進行形/S is C(C=whether節)	30
学 年 末 考 査	Lesson 9 The Long Voyage Home Lesson 10 Grandfather's Letters	○「はやぶさ」の苦難の帰還をたどりながら、困難に屈さず前進することの大切さを学ぶ。 ・独立分詞構文/未来進行形/未来完了形 ○家族愛のこもった絵手紙に触れ、メールにはない手紙の利点について話し合う。 ○「メールと手紙の利点」などについて、自分の考えを発表する。 ・不定詞の受け身/動名詞の受け身	33

計149時間(47分授業)

課題・提出物等

- ・ 考査後に教科書のWORKBOOKを提出する。
- ・ 朝学習課題、週末課題、長期休業中課題を提出する。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行う。

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	英語を用いた言語活動を行い、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
英語表現の能力	読んだ英文の話題について、自分の考えや感想を英語で話したり書いたりして表現することができる。学習した文法や語法を用いて正確な表現ができている。
英語理解の能力	英文を読んで、情報や考えなど相手が伝えようとすることを的確に理解している。
言語や文化についての 知識・理解	多読やテキストの英文読解を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化を理解している。英語の規則性に目を向け、系統的に言語を捉え理解している。

このため、評価は次のものを対象としながら、上記の観点から総合的に判断する。

教科書関連では、①年5回の定期考査 ②課題考査 ③小テスト(語彙テストなど) ④スピーキングテストなどのパフォーマンステスト ⑤課題提出やグループワークなど授業への積極的な参加状況
また、1年間の評定は1学期から3学期の年間を通じて上記の内容及び、出席状況により総合的に判断して決定する。

6 担当者からの一言

授業は予習を前提とします。語句の意味調べはもちろんですが、英文を読み何が書かれているのか読み取りましょう。授業では予習で分からなかった部分を確認してください。復習には本文CDをシャドーイングやディクテーションなどで大いに活用してください。

「予習→授業→復習」のサイクルで積極的に取り組むことを期待します。また、教科書で扱われている題材はどれもこれからの皆さんの生活と大きく関わるものです。英語の題材に示された情報や考えなどを的確に理解し、それらの情報や考えと自分の考えとを比較することなどを通して自らの考えをより深める機会としましょう。

また、自らの考えを友人と共有することで、違った視点から物事を見たり、考えや理解を深める活動にも積極的に取り組んでください。

令和2年度シラバス（英語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	英語表現	単位数	3単位	学年（コース）	2学年（国際教養科）
使用教科書	CROWN English Expression II New Edition（三省堂）				
副教材等	CROWN English Expression II WORKBOOK STANDARD（三省堂） 英文法・語法 Vintage 3rd Edition（いいずな書店） 総合英語 Evergreen（いいずな書店）				

1 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、理論の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。

2 指導の重点

- ・聞くこと、話すこと、読むことと関連付けた活動を行ないながら、主に書くことの指導に重点を置く。
- ・文型や文法事項、語法、イディオムなどの知識を広げる。
- ・自分の考えや気持ちを正しく伝えるために、場面や目的に応じた表現などの知識を身に付け、実際に活用できる力をつける。（センテンス・ライティング）
- ・文章の構成や展開に留意して、まとまった文章を書く力をつける。（パラグラフ/エッセイ・ライティング）

3 学習計画

期	単元名	学習内容	時間
1 学 期 中 間	[Part 1 文法編] Lesson 1 英語の外来語 [言語] Lesson 2 インスタントラーメン [食文化] Lesson 3 フェルメール [芸術] Lesson 4 宇宙エレベーター [科学・技術] Lesson 5 南極 [地理]	・時制・助動詞・受動態 ・不定詞・動名詞・分詞 ・比較・関係詞 ・仮定法・接続詞 ・疑問詞	21
1 学 期 期 末	Lesson 6 手塚治虫 [日本文化] Lesson 7 フード・ロス [社会問題] Lesson 8 キューバ [世界の国々] Lesson 9 地雷除去ネズミ [平和] Lesson 10 人生で会わなければならない3人 [人生] Column 英語のオノマトペ	・否定 ・特殊構文 ・名詞・冠詞 ・代名詞 ・形容詞・副詞	21
2 学 期 中 間	[Part 2 機能表現編] Lesson 1 ジョン万次郎の手紙 Lesson 2 スヌーピーの気持ち パラグラフライティングに向けて① Lesson 3 カズオ・イシグロの『日の名残り』 Lesson 4 小笠原の自然を守ろう パラグラフライティングに向けて②	・感情を表す表現 ・希望・願望/依頼・要請/許可を表す表現 ・パラグラフの構成 ・原因・理由/目的/結果を表す表現 ・忠告・義務/必要/提案・勧誘を表す表現 ・例示・追加	23

2 学 期 末	Lesson 5 ナスカの地上絵 Lesson 6 アンネ・フランクの隠れ家 パラグラフライティングに向けて③ Lesson 7 納豆のおいしい食べ方 Lesson 8 英語以外の外国語 パラグラフライティングに向けて④ Lesson 9 Life is X+Y Lesson10 スローフード	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的順序を表す表現 ・空間配列・方向を表す表現 ・順序・列挙・分類 ・方法・様態/数量を表す表現 ・賛成・反対 ・比較・対照 ・例証/比較・対照/譲歩 ・要約 	22
学 年 末	パラグラフライティングに向けて⑤ 英語のことわざ [Part 3 スピーキング編] Speaking1 Speech / Presentation Speaking2 Speech1 Speaking3 Speech2 Speaking4 Presentation1 Speaking5 Presentation2 Speaking6 Discussion Speaking7 Debate	<ul style="list-style-type: none"> ・原因・結果 <p>○簡単なテーマについて理由を示して賛成・反対の意見を述べる ことができる。</p>	25

計 1 1 2 (4 7 分授業)

4 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の WORKBOOK を提出する。 ・Journal を提出する。
--

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、間違うことを恐れずに、学んだ表現などを意欲的に活用して、英語で書く活動を積極的に行い、コミュニケーションを図ろうとする。
英語表現の能力	文法に従って正しい文を書くことができる。 伝えたい情報や考えなどを、場面や目的に応じて整理し、適切な語句や表現を用いて、正確に書くことができる。 文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。
英語理解の能力	まとまった英文を聞いたり読んだりして情報や考えなどを適切に理解している。
言語や文化についての知識・理解	語句や文法、場面や目的に応じた適切な表現、文章構成の知識を身に付けている。 文化について理解し、ものの見方や考え方などの違いについて理解している。
各学期の評価は具体的には次のものを対象とし、出席状況を加味し総合的に判断し決定します。	
<ul style="list-style-type: none"> ・年5回の定期考査 ・課題 (Journal や Topic for Communication 等) への取り組み ・文法・語法の小テスト (Vintage) 	
学年末の評価は、各学期の評価から総合的に判断し決定します。	

6 担当者からの一言

<p>覚えること。書くこと。この二つの活動を中心に、相手に自分の意見をより伝えられるように、積極的に取り組んでください。語句を覚え、正しい文の形を覚えるには、授業時間だけでは足りません。日常の家庭学習をしっかりと行ってください。そして覚えたことをどんどん活用して文章を書いてください。</p> <p>失敗を恐れずに書くことで、書けるようになるのです。また、書くためには書く topic がなければいけません。日常の出来事や世界情勢、様々な事柄に興味を抱いて、自分の意見を持ってください。</p>

令和2年度シラバス（英語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	異文化理解	単位数	2単位	学年（コース）	2学年（国際教養科）
使用教科書 副教材等	<i>My first Passport 2 Second Edition Student Book with CD</i> (Oxford University Press) <i>Developing TACTICS for LISTENING THIRD EDITION</i> (Oxford University Press) <i>DISCOVER DEBATE Basic Skills for Supporting and Refuting Opinions</i> (Language Solutions Inc.)				

1 学習目標

英語を通じて、外国の事情や異文化について理解を深めるとともに、異なる文化を持つ人々と積極的にコミュニケーションを図るための態度や能力の基礎を養う。

2 指導の重点

2年次で英検2級取得を目標とし、夏季語学研修に備えるために、

- リスニング活動（週1回）では、シャドーイングやディクテーションをとおして、正確な聴き取りや概要を聴き取る力をつけます。
- Team Teaching（週1回）では、少人数編成（約20人）でスピーキング活動を行います。1学期は主に海外旅行やホームステイで役立つ実用的な表現を学びます。2、3学期は、口頭で発表する力を養います。最終的には基礎的なディベートなどのスピーキング活動ができることを目標とします。

3 学習計画

期	単元名	学習内容	時間
1 学 期 中 間 考 査	[Listening : TACTICS] Unit 1 The Weekend Unit 2 City Transportation Unit 3 Neighbors Unit 4 Celebrations	<ul style="list-style-type: none"> Listening for details, opinions, and key words Listening for locations, numbers, and details Listening for reasons, details, opinions, and gist Listening for key words, gist, and details ○スピードに配慮された英語なら、社会的テーマを含む会話を理解できる。	14
	[Speaking : PASSPORT 2] Classroom English Unit 1 May I open your suitcase? Unit 2 How was your flight? Unit 3 What should we do tomorrow? Unit 4 We're going to visit Chinatown? Unit 5 What do you do in your free time? Destination: Australia Unit 6 This one is cheaper Unit 7 Don't forget your money! Unit 8 Do you want to go to a concert? Unit 9 I have to study Unit10 Did you go on the roller coaster? Destination: Singapore	<ul style="list-style-type: none"> Using classroom expressions Understanding and answering questions at Customs Making polite conversation with your host family Making Plans Talking about plans Talking about free-time activities Asking about prices Understanding rules and advice Making plans for the weekend Talking about things you must do Talking about the recent past ○身近なテーマについて理由を考え、論理的に主張することができる。	
1 学 期 末 考 査	[Listening : TACTICS] Unit 5 Restaurants Unit 6 Gifts Unit 7 Air travel Unit 8 Mishaps Unit 9 Jobs	<ul style="list-style-type: none"> Listening for locations, details, opinions, and gist Listening for details, decisions, opinions, and gist Listening for gist, details, and opinions Listening for gist, details, and solutions Listening for gist, key words, and details 	14
	[Speaking : PASSPORT 2] Unit11 I need some help Unit12 Have you been to Kyoto?	<ul style="list-style-type: none"> Getting help when you're lost Talking about experiences and making recommendations 	

	Unit13 Can you describe it? Unit14 I'd like the nachos, please Unit15 If I pass my exams, I'll go to college Destination: The U.S.A.	<ul style="list-style-type: none"> • Giving a description • Ordering food and drink at a restaurant • Talking about plans 	
2 学 期 中 間 考 査	[Listening : TACTICS] Unit10 Keeping Fit Unit11 Invitations Unit12 Campus Life Unit13 Hobbies and Pastimes Unit14 Shopping Problems [Speaking] ディベート	<ul style="list-style-type: none"> • Listening for details, reasons, and topics • Listening for invitations, acceptances, refusals, and details • Listening for locations, details, gist, and opinions • Listening for gist, details, and likes and dislikes • Listening for gist, details, and opinions <ul style="list-style-type: none"> • 実践演習を通しスピーキング能力を養う 	15
2 学 期 期 末 考 査	[Listening : TACTICS] Unit15 Hotel Services Unit16 Movies Unit17 Fears Unit18 Phone Messages Unit19 Touring a City [Speaking] ディベート	<ul style="list-style-type: none"> • Listening for details, and key words, and opinions • Listening for key words, times, opinions, and recommendations • Listening for gist, details, and problems • Listening for information and details • Listening for locations, details, opinions, and recommendations <ul style="list-style-type: none"> • 実践演習を通しスピーキング能力を養う 	15
学 年 末 考 査	[Listening : TACTICS] Unit 20 Airports Unit 21 Hotels Unit 22 Traffic Unit 23 Roommates Unit 24 Travel [Speaking] ディベート	<ul style="list-style-type: none"> • Listening for locations, details, opinions • Listening for details, requests, opinions, and complaints • Listening for details, key words, solutions, and problems • Listening for key words, and gist • Listening for sequence, key words, and details <p>○要点を理解したり、2～3回繰り返されれば要点を書きとることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 実践演習を通しスピーキング能力を養う 	17

計75(47分授業)

4 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> • Unit 毎にVocabulary Worksheetの課題があります。 • 口頭発表(demonstration, presentationなど)の script 作成と暗記、発表があります。
--

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。			
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、英語を聞いたり話したりして積極的に言語活動をしようとしている。	日常生活の身近な話題について、伝えたいことを英語で話したり発表できたりしている。	英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えたいことを理解できている。	日常生活の身近な話題についての学習を通して言語やその運用についての知識を身につけ、背景の文化を理解している。
各学期の評価は具体的には次のものを対象とし、出席状況を加味し総合的に判断し決定します。			
<ul style="list-style-type: none"> • 年5回の定期考査 • 授業中のActivityの取り組み状況 		<ul style="list-style-type: none"> • demonstration, presentationなど口頭発表の評価 • その他(小テスト、課題の提出状況など) 	
学年末の評価は、各学期の評価から総合的に判断し決定します。			

6 担当者からの一言

<p>この授業では、英検2級取得と夏季語学研修に備え、より発展的なリスニング・スピーキング活動を行います。</p> <p>リスニングの授業では単に聴くだけでなく、LL教室でシャドーイングやディクテーションの練習をします。また、スピーキング活動では、ALTの先生とともに、海外で役立つ実用英語や基礎的なディベートのスキルを習得します。1年生の異文化理解の授業で学んだ事を活かし、さらに発展させる国際教養科ならではの授業ですので、積極的な参加を期待します。</p>
--

令和2年度シラバス（地理歴史）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	日本史B	単位数	4単位	学年（コース）	2学年（国際教養科の日本史選択者）
使用教科書	山川出版社『詳説日本史』				
副教材等	第一学習社『最新日本史図表新版』 啓隆社『日本史重要語句 check list 2020』				

1 学習目標

わが国の形成の歴史的経過と文化の特色について認識と理解を深め、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。

2 指導の重点

- ①近代以前の日本の形成過程を、主として政治や社会の変遷をたどることによって理解させる。
- ②近代以前の日本と諸地域との間で展開された外交交渉について、世界史的な視野から考察する。
- ③近代以前の日本文化について、各時代の政治との関わりを踏まえながら、各時代の文化の特色を把握し、現代の日本文化との関連性・連続性について考察する。
- ④上記の目標を達成するため、歴史事象もしくは歴史用語が正確に理解・把握されるよう務める。

3 学習計画

学期	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
1 学期 中間	第Ⅰ部・第1章 日本文化のあけ ぼの	教科書 図表	歴史理解	・旧石器時代から縄文時代を経て弥生時代に至る日本の原始社会の発展を、考古学資料を紹介しつつ解説する。	1 1 1 7	定期考査
	第Ⅰ部・第2章 律令国家の形成 （2律令国家へ の道まで）			・古墳文化について概説した後、推古朝から天武朝にかけて律令国家が形成されていく過程を辿る。大陸文化の影響の下に成立した飛鳥・白鳳文化の特色について考える。		
1 学期 期末	第Ⅰ部・第2章 律令国家の形成 （つづき）	教科書 図表	歴史理解	・奈良時代の政争について概観し、天平文化の特色を当時の対外政策との関連から考察する。	8 2 0	定期考査
	第Ⅰ部・第3章 貴族政治と国風 文化			・政治形態の変遷を追いつつ、律令国家が変質し、武士が台頭していく様子を考察する。平安時代に進展した文化の国風化についても学習する。		
2 学期 中間	第Ⅱ部・第4章 中世社会の成立	教科書 図表	歴史理解	・鎌倉幕府の成立と展開、滅亡までを概観する。公武二元支配の観点から、農村の支配や鎌倉文化についても理解したい。	1 5 1 5	定期考査
	第Ⅱ部・第5章 武家社会の成長 （3室町文化ま で）			・室町時代の政治を概観しつつ、対外交渉や民衆の動向にも触れる。室町文化と現代の文化との関連性を考察する。		

2 学 期 期 末	第Ⅱ部・第5章 武家社会の成長 (つづき)	教科書 図表	歴史理解	・戦国大名の領国経営を中心に解説しつつ、ヨーロッパ人の来航が当時の社会や文化に与えた影響について考察する。	6	定期考査
	第Ⅲ部・第6章 幕藩体制の確立			・信長の台頭から江戸幕府の成立までの政治を辿る。近世を拓いた秀吉の政策と、江戸幕府の統治機構や鎖国政策に重点をおいて解説する。	24	
3 学 期 期 末	第Ⅲ部・第7章 幕藩体制の展開	教科書 図表	歴史理解	・社会経済史は概要にとどめる。文治政策が当時の社会や文化に及ぼした影響について考察する。	11	定期考査
	第Ⅲ部・第8章 幕藩体制の動揺			・江戸の三大改革を中心に、列強の接近に対する幕府の対応を絡めながら、幕政の推移を概観する。化政文化の多様性についても学ぶ。	12	
	第Ⅳ部・第9章 近代国家の成立 (1 開国と幕末の動乱まで)			・開国から幕府滅亡までの過程を学びつつ、幕末動乱期の政治と列強の動きとの関わりについて考察する。	10	

4 課題・提出物等

- ・学習の進度に応じて、確認テストや練習問題等の課題を課す。
- ・視聴覚教材等を用いた場合に感想レポートを課すことがある。
- ・長期休業中の課題や補習については別途指示する。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行う。			
(①関心・意欲・態度)	(②思考・判断・表現)	(③技能)	(④知識・理解)
関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用技能・表現	知識・理解
日本史に関する関心を深め、国際社会の中で生きる日本国民としての責任を果たすための問題意識を高める。	日本の文化や伝統について認識を深め、日本史の特質を国際環境などと関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	日本史の展開に関する諸史料について、その内容を理解し、歴史的事象を追求するために活用できる。	日本史に関する基本的な事柄を、国際環境に関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。
以上の点を踏まえ			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み(授業態度、学習活動への参加状況、出席状況など) ・定期考査 ・必要に応じて課されるレポートや長期休業中に課される課題などから、総合的に判断する。 			

6 担当者からの一言

2年次の日本史Bでは、原始時代から江戸幕府の滅亡までを扱う。大まかな時代の流れを捉えることに留意しながら、各時代で興味・関心を高める教材を工夫する。共通テスト『日本史B』受験のための基礎力を養成することにも心がける。

令和2年度シラバス（地理歴史）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	地理B	単位数	4	学年（コース）	2学年（国際教養科 地理選択者）
使用教科書	帝国書院 新詳地理B<地B304>、 高等地図帳（二宮書店）<地図314>				
副教材等	新編地理資料2020（東京法令） 白地図作業帳（東京法令）				

1 学習目標

現代社会の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代社会の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2 指導の重点

自然環境、資源・産業、都市・村落、生活文化等を通して現代世界の特色を探る。
 現代の世界地域（大陸規模、州、国家規模、市町村規模）を通して学ぶ。
 現代社会の諸課題（国家間、日本の近隣諸国、環境・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題、民族・領土問題）を理解する。
 地理という学習が世界を捉えるうえで重要であることを理解するとともに、世界の諸問題に対して考え、自分の意見を言える力を身につける。

3 学習計画

学期	月	学習内容	時間
1学期	4	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察	56
	5	第1章 自然環境 人間の活動において地形や気候、植生、土壌などがどのように関わっているか考察する。	
	6	第2章 資源と産業 産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察する。	
	7	第4章 生活文化、民族・宗教 地域によって異なる衣食住や生活と宗教のかかわりを学習する。	
2学期	9	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察	60
		第1章 現代世界の地域区分	
		第2章 現代世界の諸地域	
	10	第1節 地誌の考察方法	
		第2節 東アジア	
		第3節 東南アジア	
	11	第4節 南アジア	
		第5節 西アジアと中央アジア	
		第6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ	
	12	第7節 ヨーロッパ	
		第8節 ロシア	
	第9節 アングロアメリカ		
	第10節 ラテンアメリカ		
	第11節 オセアニア		

3学期	1	第3章 現代世界と日本	33
	2	第I部さまざまな地図と地理的技能 第1章地理情報と地図	
	3	第2章地図の活用と地域調査	

計 149時間 (47分授業)

4 課題・提出物等

必要に応じて課されるレポートや長期休業中に課される課題など

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求するとともに、国際社会に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。
思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断するとともに、追求した過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追求する技能を身につけている。
知識・理解	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。

評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・年5回の定期考査
- ・授業で活用するプリント
- ・長期休暇等で出される課題
- ・学習への参加状況（授業の取り組み状況、授業の記録ノートなど）

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

令和2年度シラバス（芸術）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	音楽 I	単位数	2 単位	学年（コース）	2 学年（国際教養科）
使用教科書	教育出版 音楽 I tutti 改訂版				
副教材等					

1 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ① さまざまなジャンルの音楽に触れることから、幅広い音楽の知識と技能を身につける。
- ② さまざまな演奏の活動を通し、豊かな感性・表現力を身につける。
- ③ 音楽における技能と感性を高めることにより、生涯音楽を愛好する心を育成する。

3 学習計画

学 期	単元名	学習事項	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
1 学期	歌唱①	日本の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと」 ・「この道」 ・日本語の歌詞の響きを追求し、日本の歌のよさ、奥深さを味わう。 	1 2	授業の取り組み 実技試験
	楽典①	音楽理論の基礎、楽譜の読み書き	<ul style="list-style-type: none"> ・音階名、音符・休符の名前と意味、拍子記号等の学習。 	4	筆記テスト
	器楽①	ウクレレ演奏	<ul style="list-style-type: none"> ・ウクレレの基本的な奏法（コード伴奏） 	1 2	授業の取り組み グループ発表
2 学期	歌唱②	イタリア語、ドイツ語の歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・「O sole mio」「Santa Lucia」 ・「野ばら」 ・イタリア語、ドイツ語の発音の特徴、歌詞の意味を理解して、歌唱の表現を深める。 	1 0	授業の取り組み 実技試験
	鑑賞①	民族音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・世界中の民族音楽を鑑賞し、それぞれの音楽の歴史や特徴を学ぶ。 	6	授業の取り組み
	楽典②	コードの学習 リズム練習	<ul style="list-style-type: none"> ・和音の構成、コードネームの学習 ・ボディパーカッション等を用いてリズム打ちの練習 	2	筆記テスト
	器楽②	ギター演奏	<ul style="list-style-type: none"> ・ギターの基本的な奏法（コード伴奏・アンサンブル） 	1 2	授業の取り組み グループ発表
3 学期	鑑賞②	日本の音楽、伝統芸能	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の音楽や伝統芸能を鑑賞し、その歴史や特徴、他の音楽との違いを学ぶ。 	5	授業の取り組み
	器楽③	箏・三味線演奏	<ul style="list-style-type: none"> ・箏・三味線の基本的な奏法 ・「さくらさくら」 	1 0	授業の取り組み グループ発表
	鑑賞学習（美術館）	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館での鑑賞（時期については検討中） 	<ul style="list-style-type: none"> ・万代島美術館にて作品鑑賞を行う。（芸術科三科合同） ・美術館での鑑賞マナーを身につける。 	2	鑑賞態度 プリント提出

計 75 時間（47 分授業）

4 課題・提出物等

- ・実技試験、グループ発表、筆記テストなど、授業時間内で課題を出します。
毎回出席していればできる課題です。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・ 授業の取り組み
- ・ 個人での実技試験（歌唱）
- ・ グループ発表（器楽）
- ・ 筆記テスト（楽典）
- ・ プリント（鑑賞）

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

この科目では、幅広いジャンルの音楽に触れ、たくさんの技能と表現力を身につけていきます。そして、一生涯、音楽と関わっていく上での良い手助けになる授業を行っていきたいと思います。

普段から興味のあるもの、そうでないもの、または全く未知だったものなど、さまざまなジャンルの音楽に触れ、自分の感性を磨いていきましょう。

令和2年度シラバス（芸術）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	美術 I	単位数	2単位	学年（コース）	2学年（国際教養科）
使用教科書	高校生の美術1（日本文教出版）				
副教材等					

1 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ① 様々なジャンルの美術作品に触れることから、幅広い美術の知識と技能を身につける。
- ② 様々な制作活動を通し、豊かな感性と表現力を身につける。
- ③ 美術における技能と感性を高めることにより、生涯美術を愛好する心情を育成する。

3 学習計画

学 期	単元名	学習活動（指導内容）	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
1学期	描画	鉛筆デッサン	対象を観察し、描くことを通して自身の目を鍛える。 対象の立体感をとらえて濃淡を描き分けて表現する。	4	作品提出
	色彩	色の三属性	三原色から十二色相環を作る。 彩度・明度のグラデーションを配色する。	6	作品提出
	デザイン	色面構成 レタリング	色彩配色によりテーマを表現する。 氏名を明朝体、ゴシック体で描く。 好きな文字（言葉）を創作する。	8 10	作品提出 作品提出
2学期	工芸	プッシュステンド	自由な題材で光を通した色の輝きを表現する。	16	作品提出
	木彫	レリーフ	姫鏡の裏を自由な題材で彫る。	12	作品提出
3学期	版画	木版一版多色	修学旅行の思い出等を表現する。	15	作品提出
	鑑賞	教科書の作品を鑑賞する。	教科書の中から好きな作品を選びレポートする。	2	レポート提出
	鑑賞学習（美術館）	・美術館での鑑賞（時期については検討中）	・万代島美術館にて作品鑑賞を行う。（芸術科三科合同） ・美術館での鑑賞マナーを身につける。	2	鑑賞態度 プリント提出

計 75 時間（47 分授業）

4 課題・提出物等

各単元毎の作品を提出する。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

①美術への関心・意欲・態度	②発想や構想の能力	③創造的な技能	④鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

6 担当者からの一言

完成作品をイメージし、根気強く工夫を重ねて制作し、創造することの面白さと完成させる喜びを味わってください。

令和2年度シラバス（芸術）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	書道Ⅰ	単位数	2単位	学年（コース）	2学年（国際教養科）
使用教科書	光村図書 『書Ⅰ』				
副教材等	教育図書 『くらしのペン習字』				

1 学習目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ①中学校国語科書写と高等学校芸術科書道との継続を図り、「漢字仮名交じりの書」「漢字の書」「仮名の書」、篆刻・実用書における表現力を養う。
- ②書に親しむ活動を通して、自己を主体的に表現する能力と書の美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を育てる。
- ③相互批評などの言語活動をとおして、自己を表現する力を養う。

3 学習計画

学 期	単元名	学習事項	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
1 学期	書へのいざない	<ul style="list-style-type: none"> ・書の美 ・用具・用材 ・姿勢・執筆法・用筆法 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書写」と「書道」との関連及び違いについて理解する。 ・腕の構え方、筆の持ち方、書く姿勢について理解する。 	2	授業の取組 作品提出 プリント提出
	漢字の書「楷書の学習」	<ul style="list-style-type: none"> ・九成宮醴泉銘 ・牛橛造像記 ・顔氏家廟碑 ・雁塔集教序 古典の鑑賞と臨書	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な古典を鑑賞し、それぞれの古典について、作者や時代背景などを理解する。 ・さまざまな用筆法を学び、字形と線質が作品の雰囲気にもどのように関係するのかを理解する。 	18	授業の取組 作品提出 プリント提出
	漢字の書「一文字創作」	<ul style="list-style-type: none"> ・はがき1文字作品 ・文化祭作品制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨書で学んだ表現方法を再確認し、線質、墨色などによる文字の工夫を意識し、創作する。 ・制作した作品を生徒同士で鑑賞する。 	8	授業の取組 作品提出 プリント提出
2 学期	篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・落款印の制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻の用具・用材について理解し、篆刻の仕方について学習する。 	6	授業の取組 作品提出 プリント提出

	漢字の書「行書の学習」	・蘭亭序 ・風信帖 古典の鑑賞と臨書	・中国や日本の行書の古典を鑑賞や臨書を通して、それらの用筆、運筆、字形のとり方などを学び、行書の基本的な用筆法を習得する。	1 2	授業の取組 作品提出 プリント提出
	仮名の書	・仮名の基本的な筆使い ・仮名の単体と連綿 ・散らし書き	・仮名独特の基本的な用筆法を身につける。 ・仮名の単体や連綿について理解し、仮名のリズムをつかみながら練習する。 ・散らし書きによる表現技法を学ぶ。	1 0	授業の取組 作品提出 プリント提出
3 学期	漢字仮名交じりの書	・感動した言葉を 書で伝える	・身近な言葉や詩文を題材に漢字と仮名の調和を図り、用具・用材や字形、文字の大きさ、余白などの全体構成を工夫して制作する。 ・制作した作品を生徒同士で鑑賞する。	1 7	授業の取組 作品提出 プリント提出
	鑑賞学習（美術館）	・美術館での鑑賞 （時期については 検討中）	・万代島美術館にて作品鑑賞を行う。（芸術科三科合同） ・美術館での鑑賞マナーを身につける。	2	鑑賞態度 プリント提出

計 75 時間(47 分授業)

4 課題・提出物等

・授業中のレポートやプリントについては期限内に提出する。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

①書への関心・意欲・態度	②書表現の構想と工夫	③創造的な書表現の技能	④鑑賞の能力
書の創作活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
以上の観点を踏まえ、授業の取り組み、提出物の内容・提出状況・出席状況などから総合的に評価する。			

6 担当者からの一言

・自分を表現する喜びを体験してほしい。
・生涯にわたって芸術を愛好できるよう作品を鑑賞し、味わう楽しさを身につけてほしい。